



# 泉小だより



学校教育目標 心豊かでたくましい子 ○深く考える子 ○がんばりぬく子 ○助け合うやさしい子



## ジブリパークへ行ってきました ～ 7/12 全校での特別遠足 ～

校長 小野 勇一

先日、特別遠足を実施し、長久手市にあるジブリパークへ出かけました。大型バス3台分の賃借料や高速道路代、駐車場代は、本校卒業生の石川勝さんからいただいた寄附金の一部を活用させていただきました。

午前「ジブリの大倉庫」へ、学年別の班別行動で回りました。午後は「もののけの里」「魔女の谷」へ、縦割り班で散策をしました。子どもたちは、事前に班編制やバスの座席を決めたり、6年生の計画案をもとに縦割り班で話し合ったりしました。こうした場面では、すんなりと決まらないこともあります。しかし、そうした際、他者の立場や全体の状況などを考えることを通して、譲り合う心や思いやり、コミュニケーション力が育まれるものと思います。子どもの成長には大切な機会だと思います。

当日はあいにくの雨模様でしたが、パーク内では、子どもたちは目をキラキラとさせ、展示物などを興味深く見たり、なりきり名場面でジブリ映画の一場面に入り込んで、生き生きとした表情で写真撮影をしたりしました。また、1・2年生は「子どもの街」「ネコバスルーム」で、全身を使って楽しく遊ぶこともできました。



特別遠足に同行して、1年生がカップを使用する際には高学年が手助けをしたり、サービスエリアで上級生が下級生の手を引いて横断したりするなど、学年を越えて、互いに助け合う姿を数多く見ることができました。また、相手を気遣って声をかけたり、感謝の気持ちを伝えたりし、温かな言葉を交わす素敵な場面もありました。

コロナ禍での行事の見直し等の影響で、近年では、学校行事として遠足に出かけることも少なくなってきました。今回の行事を通して、学校の外へ集団で出かけ、普段できない体験や新たな学びに出会わせたり、互いに助け合ったりする場面を設けたりすることのできる「遠足的行事の価値」を改めて問い直すよい機会となりました。

最後になりましたが、お弁当・荷物等のご準備や児童の送迎など、様々なご協力をいただきました保護者の皆様には感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



(ジブリのなりきり名場面)

(ジブリの大倉庫)



(もののけの里)

## — ふるさと泉は学びの宝庫 —

田原市の教育振興基本計画には、「ふるさとに学び 人が輝く 田原の人づくり」を基本理念とし、「ふるさとを愛し、たくましく生きる人を育てます」など、5つの方向性が示されています。

本校も、「ふるさと学習」を教育課程に位置付けています。泉（田原）地区の自然や産業、歴史、伝統文化、経験豊かな人材など、地域の「人・もの・こと」すべてが教材です。地域の方々とふれあい、様々な体験などを通して、ふるさとから学ぶ喜びや充実感を味わわせることで、「自ら学びに向かう力」を育てていきたいです。

本校のふるさと学習の一部を紹介します。4年生は、社会科で東部資源化センターへ出かけ、ごみ処分の行方などについて学びました。総合的な学習の時間では、宇津江の菊農家さんのビニールハウスを見学し、菊の収穫体験等をさせていただきました。

5年生は、菜の花エコネットワークの方々をお招きし、自分たちが泉地区の遊休農地に撒いた種が育ち収穫された鞘から、菜種の選別と搾油等の作業を体験しました。

6年生は、社会科でシェルマよしごを訪問し、貝塚などの見学と火起こし体験をしました。また、華山会の方々をお招きし、田原の偉人である渡辺華山先生の紙芝居を見せていただき、夏休みには作文コンクールに挑戦します。



## — 植物を大切に育てる心 —

小学校では、植物の栽培活動を行っています。1年生のアサガオがたくさんの花を咲かせました。2年生や4年生、1組の畑でも、夏野菜が実っています。



スマホ（SNS等）、インターネットへの配慮を

夏休みは、子どもが家で過ごす時間が増えます。大人の目が届かないところで、友達関係がこじれてしまったり、危険なことに巻き込まれてしまったりするなどのトラブルも懸念されます。

使用する時間や方法等について、お子さんと話し合ってルールを決めるなど、適切な利用を促していただくとともに、家庭での見守りにご配慮ください。気になることがありましたら、いつでもご連絡ください。

